



住みやすい町を目指して...②9

子ども会活動で体感し、伝えたいこと

平成28年度城山子ども会役員 西口、大平、荻野、稲垣(城山在住)

少子高齢化が進展し、町内の子ども会も減少し年々運営が厳しくなっています。そのような状況のなかで、積極的に各種事業に取り組んでいる城山子ども会の役員さんに伺いました。

(聞き手:田代 実)

Q どのような活動をしていますか。

A 28年度は町子連の水鉄砲合戦・駅伝大会・子ども神輿・県の防災センター見学(自治会との共催)・年3回の廃品回収などです。

Q 活動に参加した子ども達の反応は。

A 積極的に参加してくれています。特に、防災センターの見学は、楽しみながら体験学習ができました。

Q 役員になって苦労したこと、良かったことは。

A 不慣れなこともあり、いろいろな事を決めたり指示をするのがとても難しかったこと。役員として企画運営するのはとても大変でしたが、話し合いを重ねていく中で挨拶程度だった人達ともよく会話ができるようになったことです。

Q 地域との繋がりについて感じたことは。

A 自治会を通して廃品回収のトラックを手配してもらったり、子ども神輿で青少年指導員の方々に最初の話し合いから当日の片付けまで協力をいただいたりしました。また、子ども会役員として自治会のお花見や運動会でのお手伝い、ふれあい会の餅つきでの交流など地域の団体と繋がりながら活動しました。災害が起きた時などは、このような地域との繋がりが重要になると思います。



駅伝大会開会前、元気に頑張ろう!(H29.1.15)

Q 子ども会が減少しているが、どのように感じているか。

A 子どもが多かった時と比べると人数が半分位なので、今までと同じようにやっていくのが難しくなってきました。子ども会は転換期を迎え、負担の少ないほうへ変えていく時のように感じます。

Q 今後の子ども会活動や保護者に伝えたいことは。

A スポーツクラブや習い事などを行っている子どもも多くなっていますが、地域の子が安心して集える場所として機能していけたら良いのでは。子ども会は子にとっても保護者にとっても地域との繋がりへの入口になる活動だと思えます。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第2回定例会は6月6日(火)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会議長
石内	中野	南雲	井上	田代	利根川	議会議長
浩	博	まさ子	栄一	実	茂	議会議長

どつぞ、ご近所お誘い合わせの上、ご来場ください。(利根川)

日本の四季の中でも一番美しいと言われる新緑の季節・五月になりました。この議会日より第206号は、平成29年度の予算審議内容を中心に編集しましたので、ぜひ熟読ください。また、6月17日に松田会場、6月24日に寄会場の二か所で、3月議会でも審議した町の重要施策をどのような視点で、審議し議論したかを、議員自身が自ら説明する「議会報告会」を開催します。

